

# 2009年3月期 第2四半期決算説明

2008年11月11日



古河スカイ株式会社



## <本日の内容>

1. 2009年3月期(2008年度)第2四半期決算概要
2. 2009年3月期(2008年度)通期業績見通し
3. トピックス



# 1. 2009年3月期(2008年度) 第2四半期決算概要

## 2008年度 第2四半期累計決算のポイント

### ■ 前年同期比 増収減益

- 売上数量を大きく伸ばし、売上金額増
- 税制改正による減価償却費増(約17億円)
- 燃料・副原料価格の高騰が収益を圧迫(約24億円)

### ■ 売上数量

- IT関連向け等厚板大きく伸長
- 缶材、箔用材、自動車関連材、印刷板等押並べて堅調に推移
- 夏以降は自動車、輸出分野で減速傾向顕著

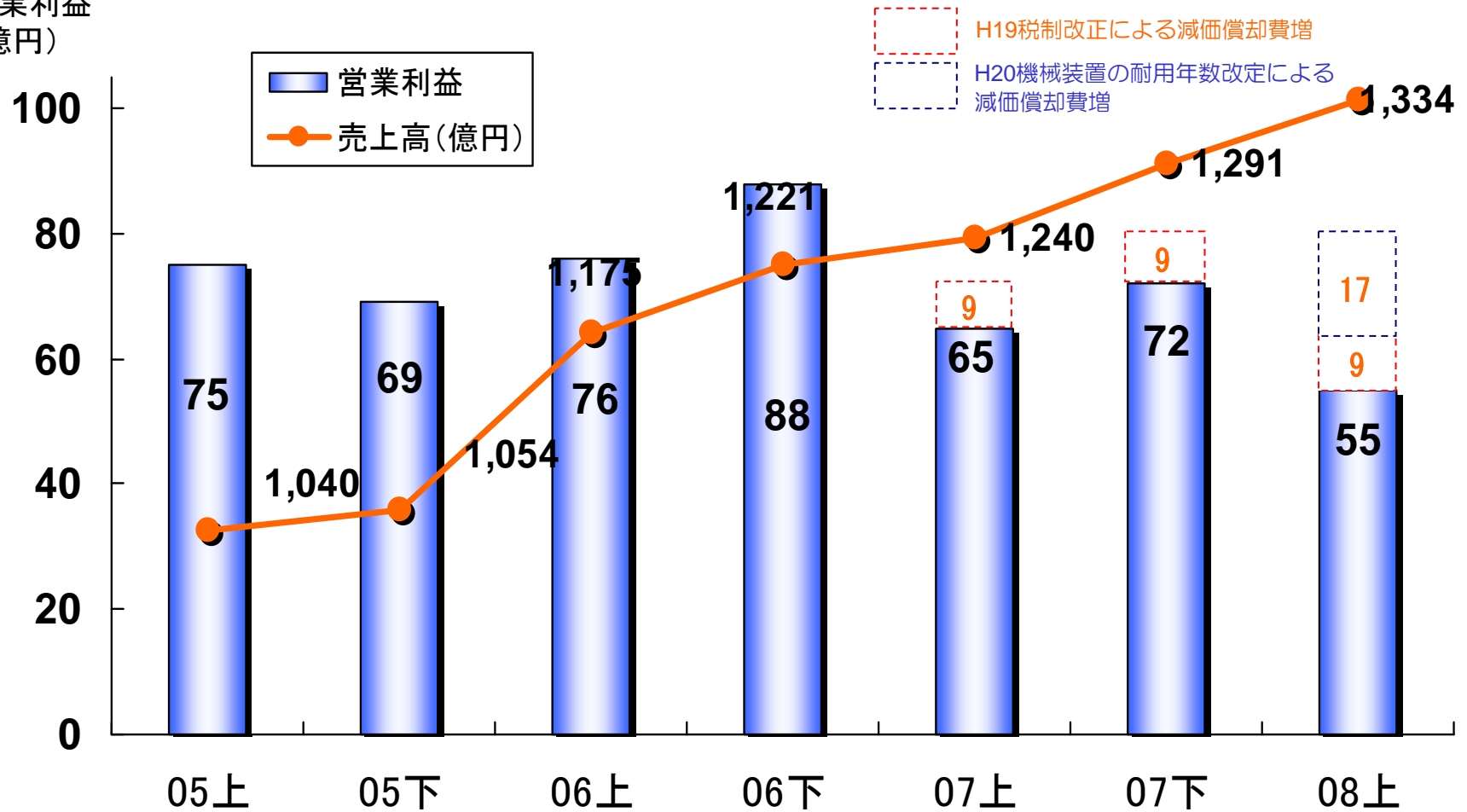
## 2008年度上期連結業績(対前年同期)

(単位:億円)

	07年度上期 (A)	08年度上期 (B)		増減 (B)－(A)	前年比(%) (B)／(A)
		08年度1Q	08年度2Q		
売上高	1,240	670	664	94	107.6
営業利益	65	34	21	▲10	84.6
経常利益	56	30	17	▲9	84.4
当期純利益	32	16	9	▲6	81.1

# 半期連結売上高・連結営業利益推移

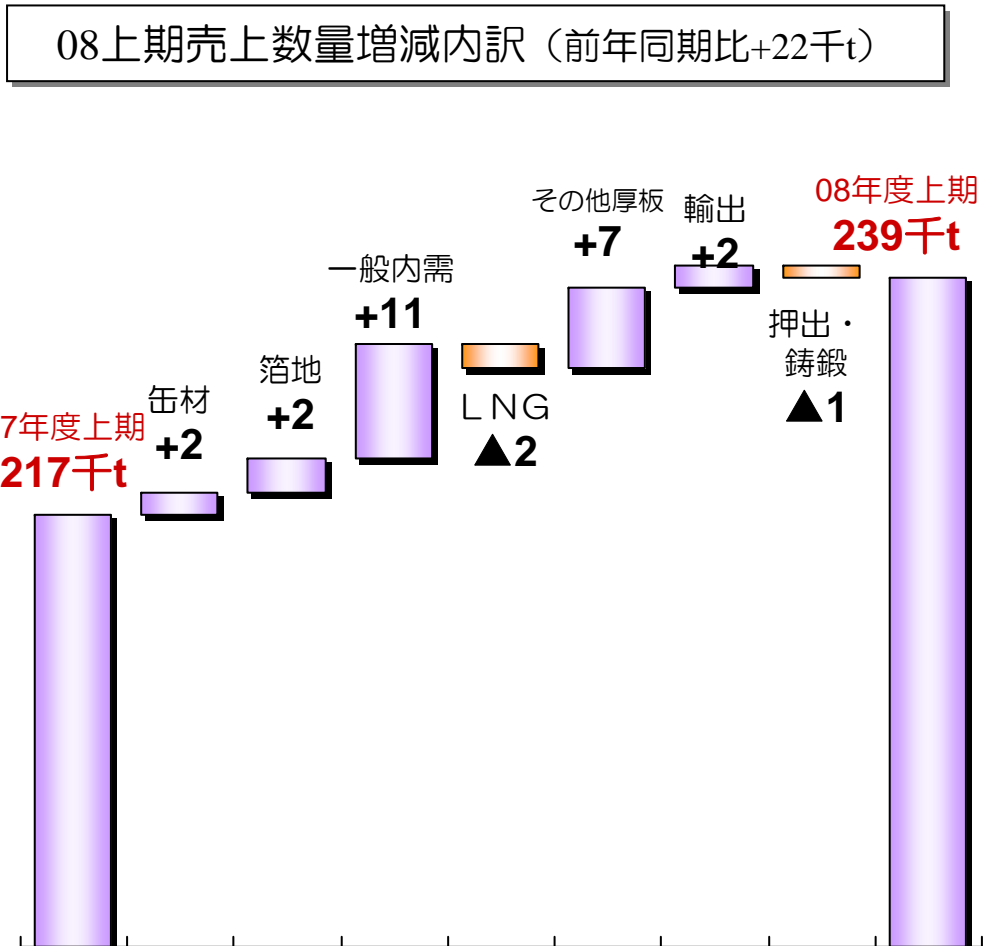
営業利益  
(億円)



# 2008年度上期 品種別売上数量(対前年度)

(単位:千トン)

品 種		07上	08上	前年 同期比	
板	缶 材	64	66	102.4	
	箔 地	19	21	111.9	
	一 般 内 需	63	74	117.2	
	厚 板	LNG	9	7	79.5
		その他	13	20	153.3
	輸 出	26	28	110.9	
計		194	217	111.7	
押 出 計		22	21	97.1	
鑄 鍛 計		1	1	156.7	
総 合 計		217	239	110.4	



# 連結営業利益分析

[ 07年度上期実績→08年度上期実績 ]

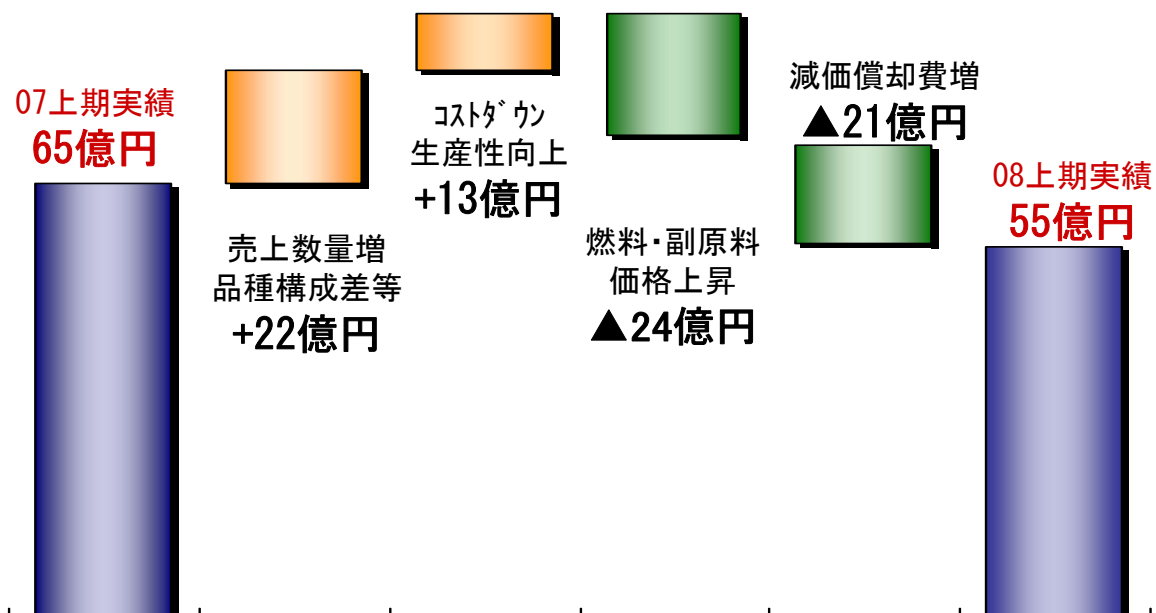
## 主な増益要因

- ・売上数量増・品種構成差等 22億円
- ・コストダウン・生産性向上 13億円

## 主な減益要因

- ・燃料・副原料価格上昇 24億円
- ・減価償却費増 21億円  
(税制改正による増 17億円含む)

07上期実績→08上期実績連結営業利益増減内訳(同期比▲10億)





# 連結貸借対照表

(単位:億円)

	08/3末	08/9末	増減		08/3末	08/9末	増減
<b>流動資産</b>	1,074	1,168	94	<b>流動負債</b>	1,068	1,152	84
現金・預金	46	43	▲3	支払手形・買掛金	455	525	70
受取手形・ 売掛金	573	688	115	短期借入金・一年以内 返済長期借入金・社債	414	441	27
棚卸資産	339	350	11	未払税金・その他	199	186	▲13
その他	116	87	▲29	<b>固定負債</b>	498	464	▲34
				長期借入金・社債	328	295	▲33
<b>固定資産</b>	1,270	1,226	▲44	その他	171	169	▲2
有形・無形固定資産	1,164	1,123	▲41	<b>株主資本等</b>	749	749	0
投資その他の資産	106	103	▲3	<b>少数株主持分</b>	28	29	1
<b>資産合計</b>	<b>2,344</b>	<b>2,394</b>	<b>50</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,344</b>	<b>2,394</b>	<b>50</b>

## 2. 2009年3月期(2008年度)

### 通期業績見通し

## 通期業績見通しのポイント

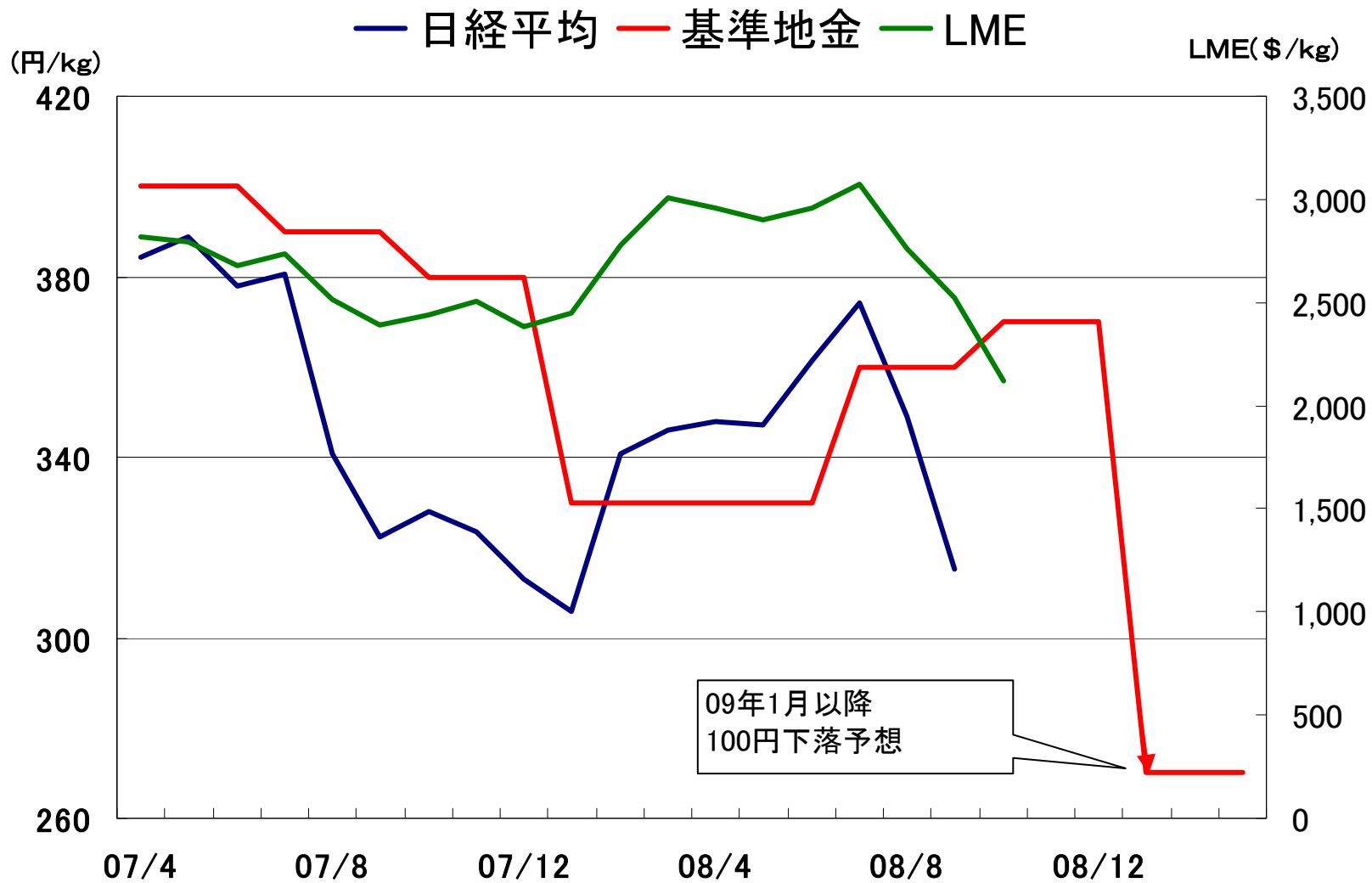
- 今後、景気の減速傾向顕著、全般的な需要減退を懸念
  - ・ 好調に推移したIT関連向厚板の減速を予測
  - ・ 一般消費減退により、自動車関連等に翳り
  - ・ 世界同時景気減速によりアジア地区缶材需要も減少

### ■ 当初見通し達成見込み

2008年度通期連結業績見通し (単位:億円)

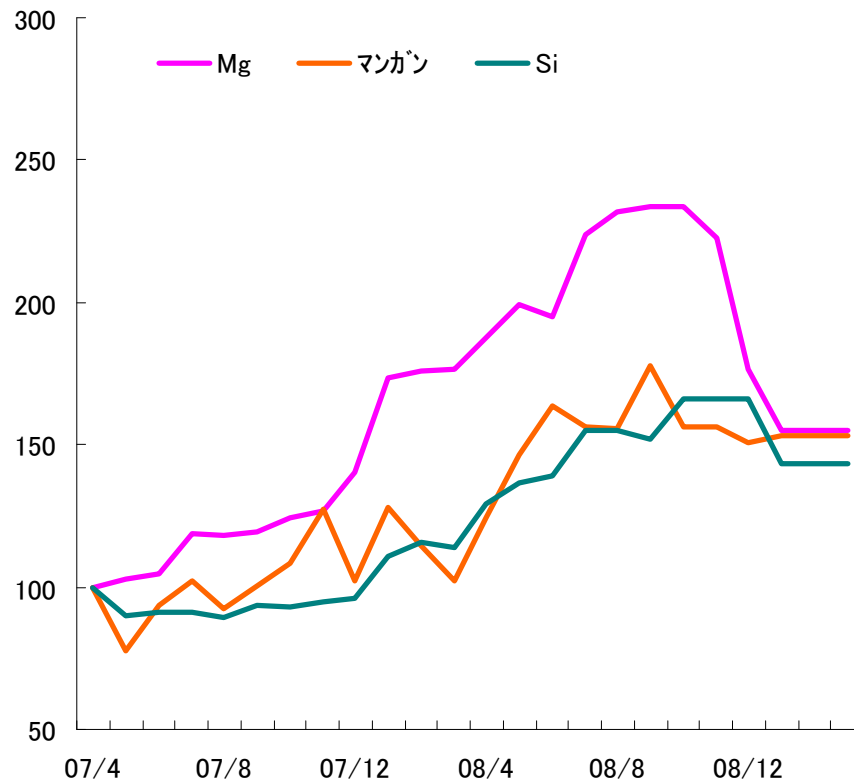
	08年度予想
売上高	2,655
営業利益	107
経常利益	88
当期純利益	45

アルミ地金日経平均、基準地金、LME推移

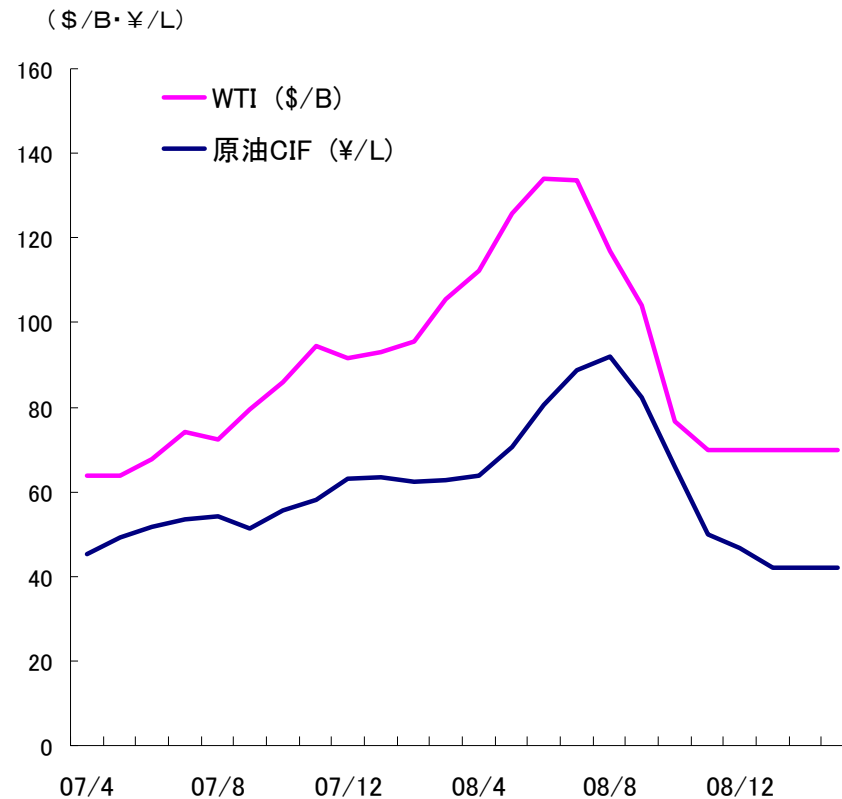


原材料、原油価格推移

原材料価格推移（指数；2007年4月＝100）



原油価格推移

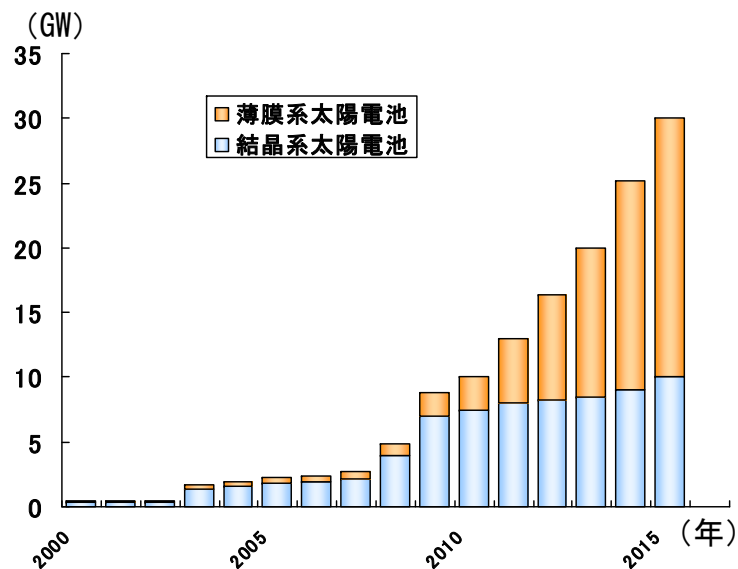


### 3. トピックス

## <設備増強>

■太陽光発電基板ホルダー製造マシニングセンター増強  
 3台 → 5台体制、11月下旬本稼動  
 受注急伸に対応し、増産体制を確立

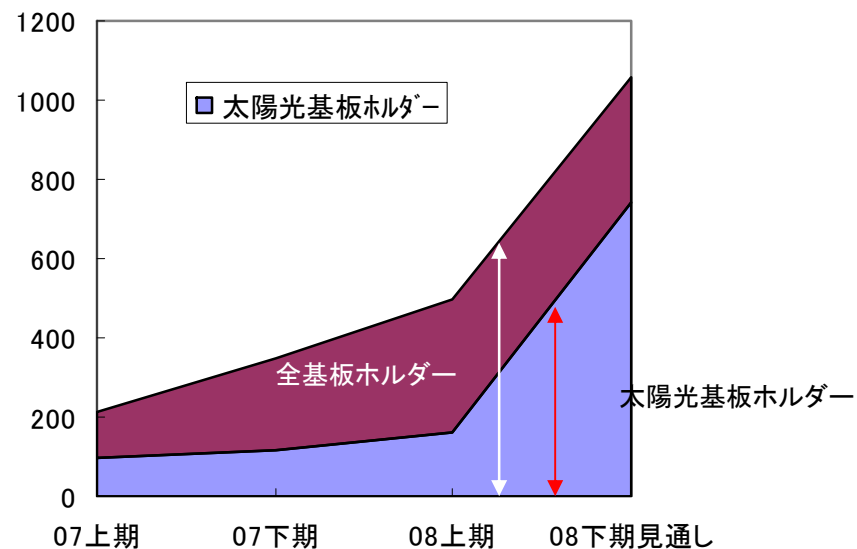
[太陽電池の世界需要]



※出典: 日経マイクロデバイス

[当社基板ホルダー売上金額推移]

(2007年上期太陽光基盤ホルダー売上金額; 指数=100)



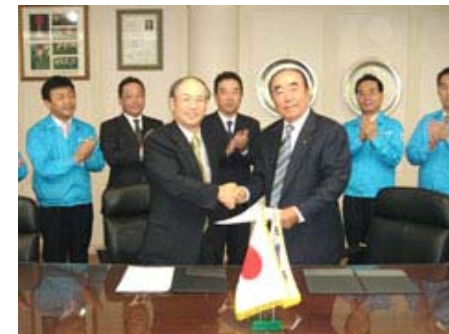
## ＜海外会社への資本参加＞

### ■ 英国・ブリッジノース社に資本参加

アジア、欧州地域へのアルミ印刷板供給体制を強化

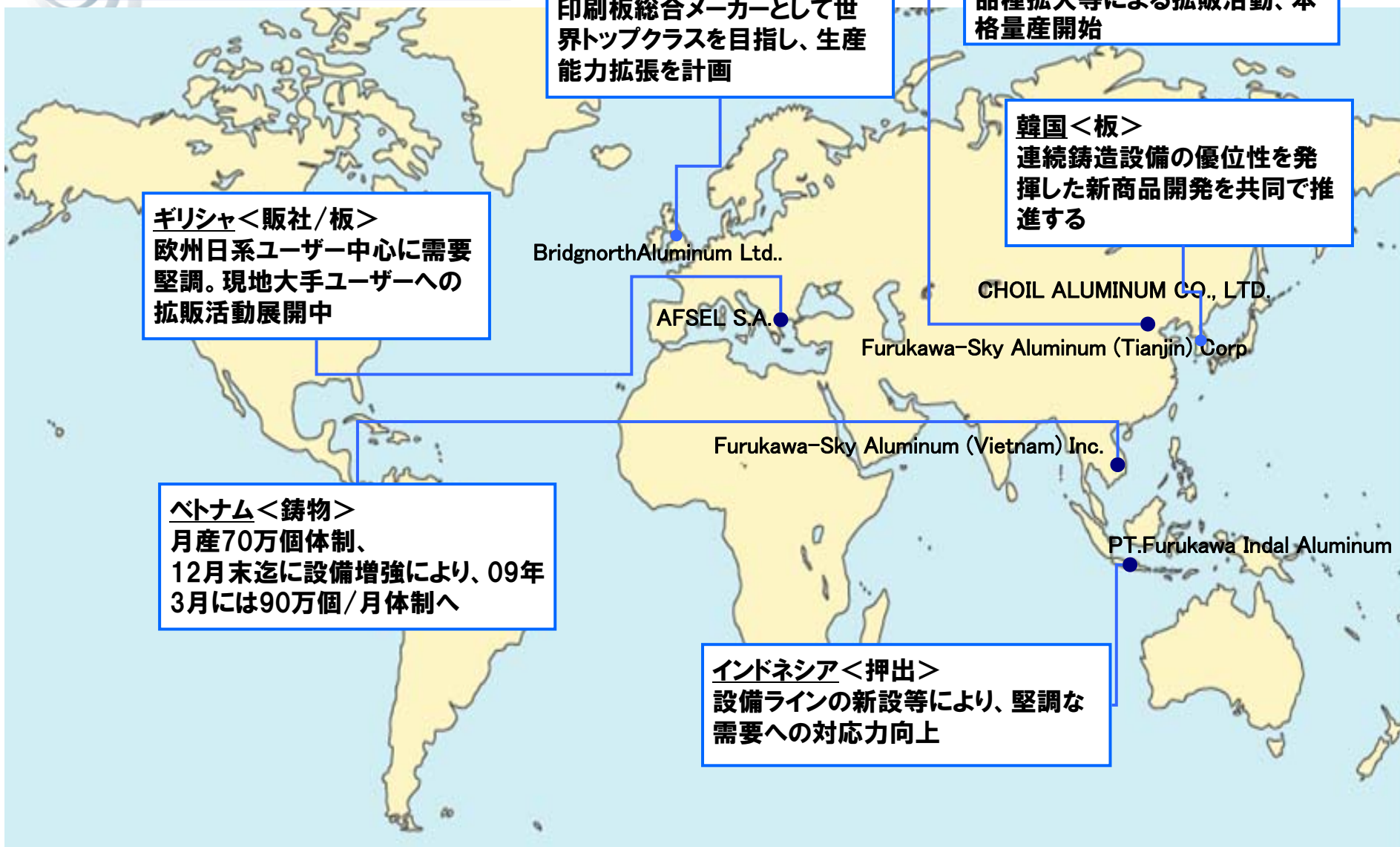
### ■ 韓国・チョイル社と業務提携

連続鋳造法を利用し、自動車熱交換器用材料の国内マーケット対応を強化





## グローバル戦略の推進





■ 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

■ 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河スカイ株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

■ 本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報・IR室 TEL:03-5295-3668 FAX:03-5295-3760

ホームページ:<http://www.furukawa-sky.co.jp>  
(東証1部 コード番号:5741)

 古河スカイ株式会社